

戦略基本目標 3 自然環境の適切な保全による、森・里・川・海などがもつ多様な機能の発揮

今町校区まちづくり協議会 小倉北区

実施内容

活動名称 紫川をシンボルとしたまちづくり
～紫川河川清掃、生きもの調べ、野鳥観察～

取組内容

目的・趣旨 紫川は校区の東側に接し南北に流れる。この紫川を母なる川として愛し、自然環境を保全しようとする住民の心を育む。自然を大切にし、自然を守っていくことの大切さを感じ取ることを活動の基本とする。

活動内容 ・紫川生きもの調べ・野鳥観察
・紫川清掃（校区住民のほか、清掃活動）

成果 河川清掃は、毎月ボランティアが行っている。特に、春のアユ放流祭の日に終わる紫川河川清掃には、多数の地域住民の他、小学生と保育園児も参加する。紫川生きもの調べや野鳥観察では、自然豊かなところでしか生息できない生きものもいる事など、活動を通じて、自然環境・生命の大切を学んだ。



課題 これまでの取組から、地域住民の環境への意識の高まりがあるが、まだ一部には理解が徹底されていない。今後一層、連携して校区内外の住民の環境保全の意識をさらに高めることが必要だ。

今後の展開

清流の象徴「アユ」がいつでも眺められる紫川の復活を目指す。今後も流域各校区の連携を図り、取組を工夫して参加者を増やしていきたい。

ガシャモク再生の会 小倉南区

実施内容

活動名称 小倉南区に自生する絶滅危惧ガシャモク等の
生物多様性保全の市民活動

取組内容

目的・趣旨 ガシャモクの再生・保全・啓蒙活動は、行政、地元自治会、銀杏会、財産組合、市立市丸小学校や地元の皆さま等の多様な方々と協働で協力していくことが不可欠である。再生11年目となり、ガシャモクやインバモ等の絶滅危惧種を見守りながら、地元自治会や市丸小学校、自生池の環境保全、新たな生物多様性保全活動が主要テーマである。

活動内容 活動は、①自生池における水草の観察と保全活動、②安全対策、土手保全対策、池干し、野生動物対策等の多様な活動、③地元市丸小学校とのガシャモク等の環境総合学習活動、④第6回北九州市民対象のガシャモク観察会等の啓蒙活動、⑤ガシャモク資料館の活用に伴う啓蒙活動、⑥ガシャモク再生に伴う池生態系の生物多様性保全活動等である。

成果 小倉南区自生池は、絶滅危惧ガシャモク、インバモ、ツツイトモ等の生育状況、アサギマダラ、ニホンミツバチ、マジミヤメダカ等の生息状況、カモ類、オオバンやカワセミの水鳥類、多種多様な渡り鳥の生息状況を確認できた。池は再生11年目、水質は池底まで目視、水中林のようにガシャモク等の水草の確認を続けている。ワンド部の泥厚変化は昨年とほぼ同程度を示す。今年は、旺盛な水草の繁茂で動物の侵入圧が増加し、水草等



課題 へ食害圧も増加した。北九州市民を対象の第6回ガシャモク観察会は、新型コロナの影響の中実施し無事終了、並行してガシャモク資料館の開館を行った。地元市丸小学校は緊急事態宣言解除後、13回目になる全国一斉水質調査に参加、総合学習の一環で、ガシャモク観察や環境学習の体験授業を行った。継続中のガシャモク系統保存と殖芽再生試験は、冷暗所下での保存と自然界との再生試験を継続実施、その他としてガシャモク会報作成や池周辺の清掃等を地元と協力し実施した。

今後の展開

北九州市の財産ガシャモクをキーワードに、豊かな市民の財産に、そして二つ目に生物多様性の保全に役立つよう協働して、2013年からの継続をさらに展開する。

曽根新田花咲く町づくりふれあい会 小倉南区

実施内容

活動名称 絶滅危惧種塩生植物ハマまつナ、ホソバハマアカザ、
ハマサジの保護

取組内容

目的・趣旨 数少なくなったハマまつナ、ホソバハマアカザ、ハマサジを絶滅させない。

活動内容 ・ゴミ拾い、よしの草取り
・護岸の草切り
・パイプの補強
・網の上下をロープで補強
・3日おきにプランターに潮水をかける
・パイプの塗装
・塩生植物に肥料を与える

成果 1年草で種から育てるので年々うまく来て来た。



今後の展開

種が自然に落ちて育ったのと、公園と喜多村邸で育てた物を色や高さを比較して研究して行く。

公益財団法人タカミヤ・マリバー環境保護財団 八幡東区

実施内容

活動名称 第37回紫川アユの放流祭

取組内容

目的・趣旨 北九州市のシンボルである紫川へアユの放流を行い、アユの保護増殖を行う。同時に、地域の小中学生を含め放流祭に参加いただくことで、川や生き物を大事にする道徳心や地域を大切にしたいという愛郷心を醸成する。

活動内容 紫川へのアユ放流。(今町市民センター前、長行、長尾の三箇所)

成果 約1万尾のアユを、紫川の三箇所(今町市民センター前、長行、長尾)に、地元の皆さんの協力をいただきながら放流を行った。

課題 本年は、コロナウイルス蔓延のため、アユ放流のみを地域の方々と一緒になって行った。コロナウイルスの状況が落ち着けば、今後、より多くの子供たちに参加を促したい。



今後の展開

来年度は状況を鑑みながら、イベント活動を徐々に実施していきたい。

日本カブトガニを守る会福岡支部 小倉南区

実施内容

活動名称 カブトガニの産卵場所の清掃活動・産卵観察会

取組内容

目的・趣旨 ○曾根干潟のカブトガニの主要な産卵場所である朽網川河口の砂浜の環境整備。春から初夏にかけて発生し漂着する大量の海藻類は、そのまま放置すると腐敗してヘドロ化し、硫化物の発生で産卵や卵の発生に影響を与える。また、大量の漂着ゴミは、産卵行動を阻害したり、浜に堆積すると卵の発生や孵化に影響を与えたりするので、これらを撤去回収して産卵場の砂浜の健全化を図っている。
○産卵観察会を通して、曾根干潟の重要性やカブトガニの保護の必要性を知ってもらう。

活動内容 ○6月12日(日) 地元まち協、企業と協働で朽網川河口海岸の清掃活動を行い、漂着ゴミを片付け産卵場を整備した。
○7月16日(土) 地元まち協、市民センターと共催で朽網川河口海岸にて産卵観察会と清掃活動を行った。
○7月18日(月) 海の日に、守る会主催で、貫川河口にて産卵観察会と清掃活動を行った。
○年間を通して随時、当支部会員3~4名で漂着ゴミを回収し、砂浜の整備を行った。



成果

○6月12日の清掃活動では、89名もの参加があり、活動の拡がりを感じた。漂着ゴミ45L61袋、タイヤ、発泡ウキ、流木等を軽トラ1台分回収した。
○7月16日の観察会&清掃活動では、参加者53名で、昨年は観察できなかった産卵の様子を全員でじっくり観察でき、改めて干潟の貴重さを確認できた。

課題

漂着ゴミの量が増え、回収作業が追い付かず、産卵場所の確保が難しい時がある。

今後の展開

干潟の海藻類の異常繁茂は、ここ数年小康状態であるが、梅雨等の大雨が降った後に、東風が吹くと、河川から海へ出たゴミ類が干潟内に入り、砂浜に漂着する。このような現象はこれからも繰り返されると思われる。根本的な方策がない為、ゴミ、海藻類の撤去回収作業を来年度以降も地域と連携しながら続けていきたいと思う。

呼野環境整備委員会 小倉南区

実施内容

活動名称 里山景観と自然環境の保全環境整備

取組内容

目的・趣旨 里山で育ち自然環境の中、幼い頃から慣れ親しんだ農業用水確保のため池が半世紀後に絶滅危惧種のガシャモクが発見され、以来再生、保全の為周辺の竹林、里山の伐採等々の自然環境保全と改善活動に取り組む。

活動内容 高齢化が進み筍掘りの出荷及び自家消費等が衰退して長年にわたり、人の手が入らずに荒廃した孟宗竹の山に倒竹が散乱して、踏み入ることができない状態の山斜面を整備清掃作業。

成果 立ち枯れの孟宗竹が倒れ折り重なり足を踏み入れることが難しい傾斜地に深く堆積した竹の葉で足元が滑りやすく作業が困難な場所は、安全対策等々で苦慮しましたが、スッキリした山肌が見える安全な斜面が甦りました。



今後の展開

日本に2ヶ所しか、自生地がない絶滅危惧種ガシャモク保全の為、ため池周辺の自然環境保全活動の更なる充実及び町内全域の里山景観を整備保全の促進。

私たちの未来環境プロジェクト 戸畑区

実施内容

活動名称 水辺と森のふれあいプロジェクト

取組内容

目的・趣旨

河川・道路等に漂着ゴミ・ポイ捨て等が増えてきていることから、ゴミ問題を解決するために清掃活動を行います。また生き物とのふれあいを通じて、私たちに自然が如何に大切なものであるかを自然観察(主に昆虫関係)を通して考えるキッカケをつくります。

活動内容

道路清掃活動、海岸周辺清掃活動(2ヶ月に1回ペースの活動)
自然観察(主に昆虫)(年2回程度)
親子で学ぶ昆虫学入門(毎月1回)

成果

継続して実践して活動することにより老若男女問わず徐々に参加頂いています。



課題

「人を育てる人」を育てること。

今後の展開

点と点を結び線となり、やがて面への広がりとなるきっかけづくりを目指し続けていきます。

光和精鉱株式会社 戸畑区

実施内容

活動名称 地元戸畑区の公園清掃と北九州市まち美化清掃への参加

取組内容

目的・趣旨

当社は廃棄物の適正処理を通じて、環境保全と循環型社会の構築に貢献することを使命としている。当社では、この考え方を具体的に実践する活動として地域の清掃活動を行っている。(毎月第4土曜日に地元戸畑区の大橋公園と戸畑駅周辺で実施)また、自治体や他団体が主催する環境保全に関する各種催しへの協力・支援を行うことで地域環境保全に寄与している。(北九州市まち美化清掃、市民いっせいまち美化の日への参加)こうしたボランティア活動を通じて、社員一人ひとりが地域社会に直接触れ合うことの重要性を知った。地域社会に直接触れ合うことでより一層環境保全に対する意識を高めていきたい。



TOTO株式会社 小倉北区

実施内容

活動名称 TOTO水環境基金助成先団体の活動

取組内容

目的・趣旨

地域の水とくらしの関係を見直し、再生することを目指した創造的な取組を支援します。
地域の特徴を活かした新しい文化を創り出す契機となることを期待しており、助成金による経済的支援だけでなく、TOTOグループ社員の活動参加や情報交換などを通して、年々活動の輪が広がっています。

活動内容

2005年の設立以来、のべ292団体を支援してきました。
活動地域は国内41都道府県、海外17カ国に及びます。



戦略基本目標 4 人と自然の関係を見直し、自然から多くの恵みを感じることができる状態の維持

福岡県立北九州高校魚部 小倉南区

実施内容

活動名称 水辺の環境を伝えていく学習活動

取組内容

目的趣旨 河川や湿地で調査する中で感じた、地域の自然環境や生息する生きものの事などを交流会や生態展示を通して多くの方に伝えていき、生きものだけでなく自然環境への興味関心を高めることを目的として活動をしています。

活動内容

①魚部と図鑑作り
響灘ビオトープで夏休み期間に実施される人気のイベントで、参加者は普段は入れない湿地に入り魚部員と水生昆虫を採取しました。採取した生きものは部員たちが説明し、参加者たちはそれを参考にオリジナルの図鑑を作りました。

②未来の種 むらさき川探検隊<紫川の生きもの調べ>
今年で2年目となる交流イベントで、参加してくれた今町小学校の子供たちと一緒に紫川で生きもの探しをしました。採取した生きものは部員たちが説明し、子供たちに触って貰ったり、観察してもらいながら楽しく生きものについて学ぶことができました。



成果

①に関して、今回初めて自然ネットの方と合同で行いました。より多くの方と関わることで活動の広がりを感じました。

②に関して、参加者と一緒に川で生きものを採取しました。採取した生きものを説明するときはとても熱心に話を聞き、生きものと触れ合いを楽しんでいました。

今後の展開

生きものの知識だけでなく自然環境保全の意識が芽生えてくるのが期待されるので、こうした交流やイベント活動を定期的かつ継続して行っていこうと思います。

NPO法人グリーンワーク 小倉北区

実施内容

活動名称 北九州みどりのじゅうたんプロジェクト
～保育園・幼稚園・小学校芝生化事業～

取組内容

- 目的趣旨**
- ①子供達の健康増進と体力向上
 - ②ヒートアイランド現象の抑制
 - ③地域景観の向上
 - ④地域コミュニティの形成
 - ⑤環境教育の推進

活動内容

主な活動は、子供達、先生、地域の方々とNPOの協働作業で実施している。

- 保育所・幼稚園園庭芝生化事業
 - ・芝生環境紙芝居の実施
 - ・芝苗の植え付け
 - ・冬芝の種まき
 - ・ネイチャーゲーム(自然ビンゴ)の実施
- 小学校運動場芝生化事業
 - ・ポット苗の育成
 - ・ポット苗の植え付け
 - ・冬芝の種まき
 - ・肥料播き



成果

園庭や運動場を芝生化することにより、ヒートアイランド現象の抑制や生物多様性に役立つことを紙芝居やゲームによりわかり易く子供達に伝えることが出来た。

課題

芝生化実施済みの園庭や運動場の管理方法の検討。

今後の展開

保育所・幼稚園では、更に環境教育を推進していきたい。小学校では地域の方々の参加による地域コミュニティの形成に力を入れたい。

グリーンパーク活性化共同事業体 若松区

実施内容

活動名称 北九州市「100万本植樹プロジェクト」への協力

取組内容

目的趣旨 「市の施策である『美しい緑の環境首都』への貢献」の一環として、また自然環境保全の啓蒙活動の取組として、北九州市響灘緑地/グリーンパークでは、春と秋のイベント時に来園者への花苗や種のプレゼントを実施しております。

活動内容

2022年度はイベント企画として来園者に花の苗や種をプレゼント致しました。春の「ファミリーフラワーフェスティバル」では4/29・30にジニアの苗を両日で1000苗、5/4・5にひまわりの種を両日で500袋、「秋のバラフェア 2022」では期間中(10/15～11/13)の土曜・日曜にバラの苗を各日先着400苗プレゼント実施。



成果 「秋のバラフェア」では計4000株のバラの苗が来園者に配付されました。